

みつけてくれてありがとう

大みか小学校 五年 師岡 聖樹

「かっちゃん元気い」。

おばあちゃんの家を訪れると、一番初めに
出てくる言葉です。「かっちゃん」は、ぼく
のおじさんで、生まれつきしょう害があり、
言葉は話せません。歩くのもゆっくりで、着
替えも一人では出来ないため、生活のほとん
どを、おばあちゃんか助けています。

外に出る時は車いすなので、玄関にはいつ
も「かっちゃん号」がとまっています。ぼく
も時々お散歩を手伝いますが、アスファルト
でない道で押すのは、とても大変です。周り
の道かも、と整備されたが、今よりも遠くま
でお散歩に連れて行ってあげられるのと思
います。

知らない人は、かっちゃんをジロジロ見る
こともありますが、声をかけてくれる人もい
ます。

何年か前にかっちゃんは、家から出てしま

い行方不明になりました。その時は、みんな
で手分けしてあちこちさがしたのですが、一
時間以上たっても見つからず、足が悪いかっ
ちゃんか、そんな風に遠くまで行けるはずな
いのにと、必死でさがし回りました。

歩いていた学生さん達にも、かっちゃんの
特調を話して、見かけたが連絡をお願いしま
した。

しばらくくすると、大学生のお兄さん達が、
かっちゃんを連れて来てくれたのです。

閉店したお店のそばに座り込んでいたとの
ことでした。

「よかっ。たあ。ありがとうございます。」

と、お兄さん達にお礼を言うと

「みっかっで良かっ。たですね。ぼく達もうれ
しいですよ。」

と言って帰りました。

いろいろなところで支え合い、助けられて
いるこの社会が、もっともっと明るいやさし
さで広がってほしいと思います。